

高齢化社会や知財：

研究成果を報告

東京大学政策ビジョン研究センターは28日、東京都内でフォーラムを開催した。同センター

東大政策ビジョン研 1周年記念フォーラム

発足1周年の記念フォーラム。新政権誕生により「政治」から「政策」への転換が問われる中、高齢化社会、医療システム、知的財産権制度などさまざま

まな課題について研究してきた成果を公表した。浜田純一東大総長は冒頭で同センターの役割について、「大学の知と社会の知が連関する中で、知識の質を具体的、たくましいものにする」と述べた。

同日は、鈴木寛文部科学副相、増田寛也元総務相、浜田総長らがパネルディスカッションに参加。同センターが目指すべき方向性や積極的な政策提言に期待を寄せた。



つさあいであつて冒頭
長総田浜する